

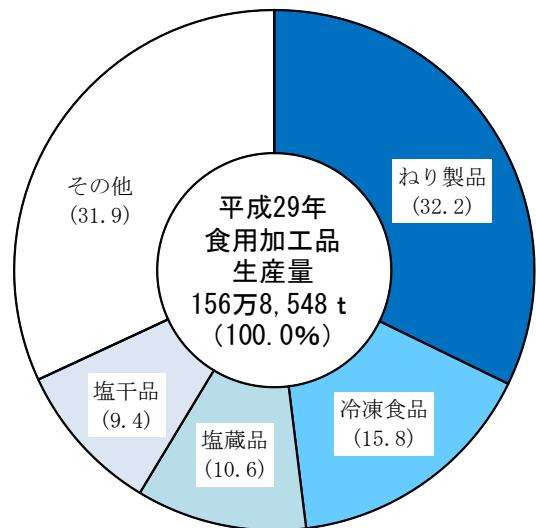
## 【調査結果の概要】

平成29年の食用加工品の生産量（焼・味付のりを除く。以下同じ。）は156万8,548 tで、前年に比べ4%減少した。

主な加工種類別<sup>(注1)</sup>にみると、ねり製品は50万5,116 t、冷凍食品は24万8,443 t、塩蔵品は16万6,340 t、塩干品は14万8,119 tで、前年に比べそれぞれ2%、2%、3%、5%減少した。

生鮮冷凍水産物の生産量は136万6,166 tで、前年に比べ3%減少した。

図1 食用加工品生産量の主要加工種類別構成割合（全国）（平成29年）



注：割合については、表示単位未満を四捨五入しているため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある（以下同じ。）。

表1 主要加工種類別食用加工品及び生鮮冷凍水産物の生産量（全国）

区分	単位	平成25年	26	27	28	29	対前年比 (29年/28年)
食用加工品	t	1,715,924	1,704,833	1,681,583	1,630,347	1,568,548	96
ねり製品	〃	528,438	531,982	530,137	514,397	505,116	98
冷凍食品	〃	256,935	263,164	258,481	253,851	248,443	98
塩蔵品	〃	197,845	191,121	184,655	171,171	166,340	97
塩干品	〃	166,714	162,353	164,566	156,310	148,119	95
その他	〃	565,992	556,213	543,744	534,618	500,530	94
焼・味付のり	千枚	7,003,728	7,057,380	7,284,166	7,108,688	6,755,532	95
生鮮冷凍水産物	t	1,382,604	1,485,406	1,416,228	1,401,661	1,366,166	97

- 注：1 加工種類とは、製造方法や保存方法により水産加工品を分類したものである。  
 なお、水産加工品とは、水産動植物を主原料（原料割合で50%以上）として製造された、食用加工品及び生鮮冷凍水産物をいう。  
 2 食用加工品の「計」には焼・味付のりは含まれていない。  
 3 平成25年値は2013年漁業センサス結果である。

【調査結果】

1 食用加工品の主な品目別生産量

(1) ねり製品

ねり製品の生産量は50万5,116 tで、前年に比べ2%減少した。

品目別にみると、ねり製品生産量の約9割を占めるかまぼこ類は44万4,116 tで、前年に比べ2%減少し、魚肉ハム・ソーセージ類は6万1,000 tで、前年に比べ2%増加した。

図2 ねり製品生産量の品目別構成割合 (全国) (平成29年)

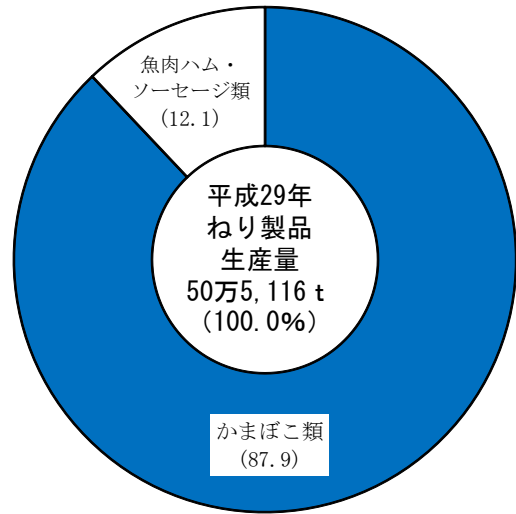


表2 ねり製品の品目別生産量 (全国)

区 分	平成28年	29	対前年差	対前年比
	t	t	t	%
ねり製品	514,397	505,116	△ 9,281	98
かまぼこ類	454,821	444,116	△ 10,705	98
魚肉ハム・ソーセージ類	59,576	61,000	1,424	102

(2) 冷凍食品

冷凍食品の生産量は24万8,443 tで、前年に比べ2%減少した。

品目別にみると、魚介類（切り身、むきえび等の加工品）は12万8,249 tで、前年に比べ1%増加し、水産物調理食品は12万194 tで、前年に比べ5%減少した。

図3 冷凍食品生産量の品目別構成割合 (全国) (平成29年)

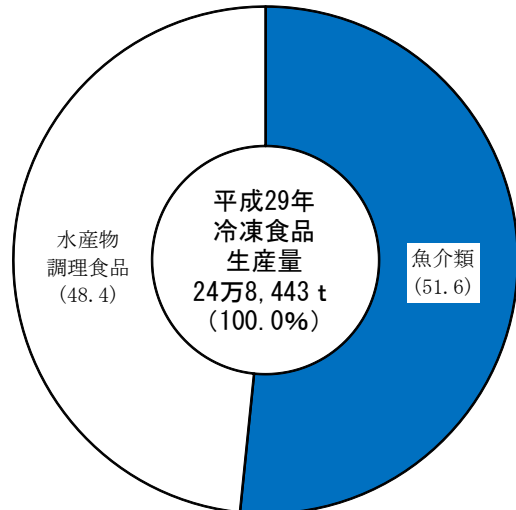
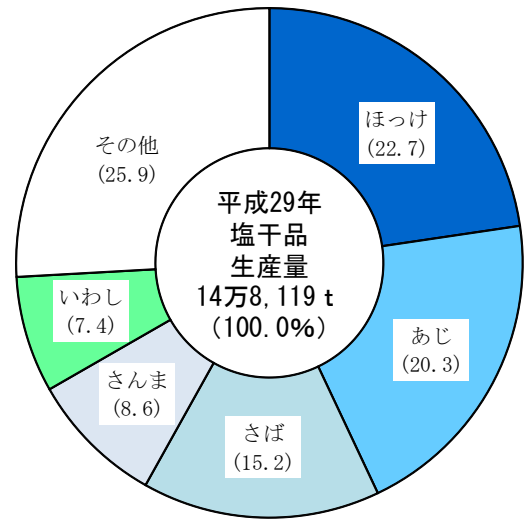


表3 冷凍食品の品目別生産量 (全国)

区 分	平成28年	29	対前年差	対前年比
	t	t	t	%
冷凍食品	253,851	248,443	△ 5,408	98
魚介類	127,307	128,249	942	101
水産物調理食品	126,544	120,194	△ 6,350	95

図4 塩干品生産量の主要品目別構成割合  
(全国) (平成29年)



(3) 塩干品

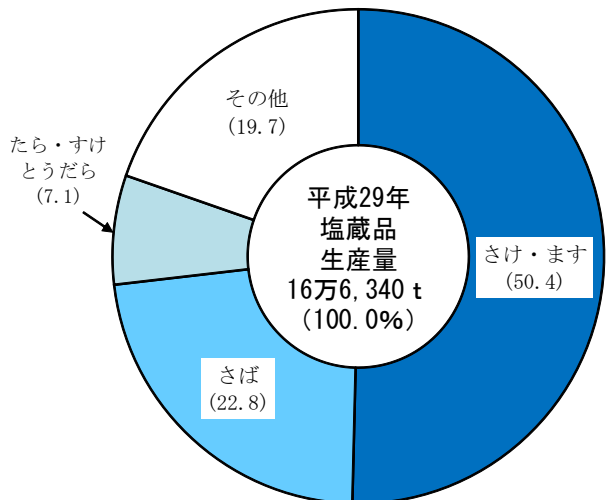
塩干品の生産量は14万8,119 tで、前年に比べ5%減少した。

主な品目別にみると、ほっけは3万3,590 tで、前年に比べ1%増加し、あじは3万43 t、さんまは1万2,744 t、いわしは1万935 tで、前年に比べそれぞれ4%、21%、9%減少した。また、さばは2万2,476 tで、前年並みとなった。

表4 塩干品の主要品目別生産量 (全国)

区分	平成28年	29	対前年差	対前年比
	t	t	t	%
塩干品	156,310	148,119	△ 8,191	95
うちほっけ	33,294	33,590	296	101
あじ	31,236	30,043	△ 1,193	96
さば	22,471	22,476	5	100
さんま	16,031	12,744	△ 3,287	79
いわし	12,049	10,935	△ 1,114	91

図5 塩蔵品生産量の主要品目別構成割合  
(全国) (平成29年)



(4) 塩蔵品

塩蔵品の生産量は16万6,340 tで、前年に比べ3%減少した。

主な品目別にみると、さけ・ますは8万3,813 t、たら・すけとうだらは1万1,876 tで、前年に比べそれぞれ1%、6%減少し、さばは3万7,900 tで、前年に比べ1%増加した。

表5 塩蔵品の主要品目別生産量 (全国)

区分	平成28年	29	対前年差	対前年比
	t	t	t	%
塩蔵品	171,171	166,340	△ 4,831	97
うちさけ・ます	84,774	83,813	△ 961	99
さば	37,622	37,900	278	101
たら・すけとうだら	12,694	11,876	△ 818	94

## 2 生鮮冷凍水産物

生鮮冷凍水産物の生産量は136万6,166 tで、前年に比べ3%減少した。

主な品目別にみると、さば類は42万5,576 t、いわし類は39万3,409 t、まあじ・むろあじ類は6万3,026 tで、前年に比べそれぞれ4%、3%、8%増加し、さんまは6万7,391 t、さけ・ます類は6万3,609 t、ほたてがいは5万6,223 tで、前年に比べそれぞれ20%、24%、28%減少した。

図6 生鮮冷凍水産物生産量の主要品目別構成割合（全国）（平成29年）

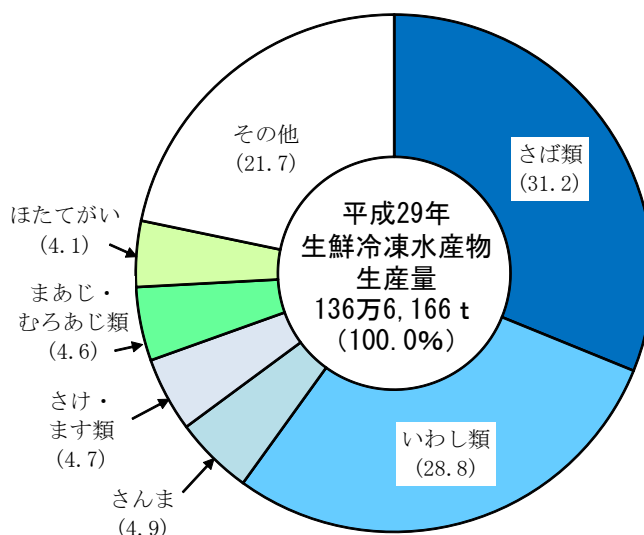


表6 生鮮冷凍水産物の主要品目別生産量（全国）

区分	平成28年	29	対前年差	対前年比
	t	t	t	%
生鮮冷凍水産物	1,401,661	1,366,166	△ 35,495	97
うち さば類	410,327	425,576	15,249	104
い わ し 類	381,506	393,409	11,903	103
さ ん ま	84,626	67,391	△ 17,235	80
さ け ・ ま す 類	83,781	63,609	△ 20,172	76
まあじ・むろあじ類	58,627	63,026	4,399	108
ほ た て が い	78,118	56,223	△ 21,895	72